

課題名：プレクリニカル期アルツハイマー病の前向きコホート研究

代表機関/代表者：東京大学/佐藤 謙一郎
研究期間：令和8年度～令和12年度

研究開発目的

アルツハイマー病は、物忘れなどの症状が出る前から長い時間をかけて進行します。本研究では、症状がない、または極めて軽い段階の方を継続的に追跡し、どのような人で病気が進みやすいのか、どの検査が将来の変化をよく予測できるのかを明らかにします。

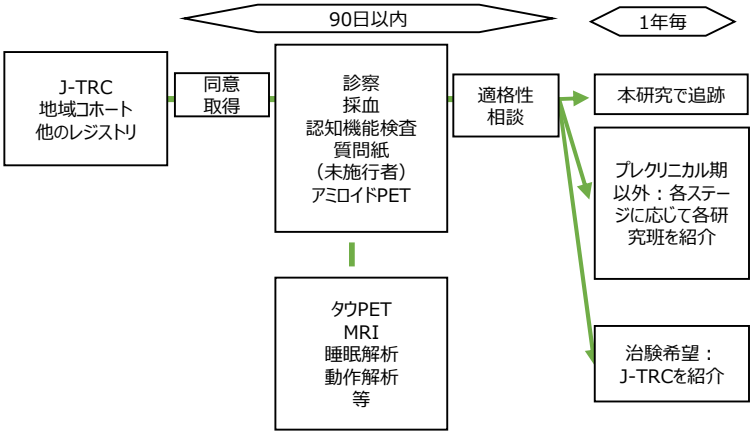
取り組み

J-TRCやPAD-TRACKで整備された研究基盤を活用し、複数の医療機関で認知機能検査、血液検査、MRI、PET検査などを組み合わせて追跡します。得られたデータを標準化して管理し、将来の予防研究や治療薬開発に役立つ研究基盤を整えます。

成果目標

プレクリニカル期アルツハイマー病の進行を予測する指標を明らかにし、早期発見、適切な経過観察、予防研究につながるデータ基盤を整備します。

研究フロー

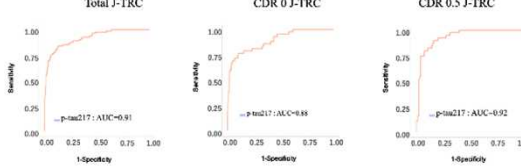


前段研究の成果と本研究への展開

タウPET



血液バイオマーカー



脳画像と血液検査を組み合わせ、症状がない段階から将来の変化を予測できるかを検討します。